

1. 年頭のあいさつ (会長 今井 和男 記)

新年、明けまして、おめでとうございます。会員の皆様には、ご家族お揃いで、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年の取り組み、活動等振りかえって見ますと、「里山ビオトープ二俣瀬」の観光路「遊歩道」等の建設が完成し、3月に「完工式」を挙行しました。この間、会員の皆様には、大変なご苦労があったと思います。ありがとうございました。これら等の功績等が認められ、環境大臣表彰(4月29日みどりの日)の受賞がありました。この受賞は、山口県はもちろん、全国へ大きくアピールしたもので、大変喜ばしいことと存じます。完成後は、視察、見学者等が数多く、これらの対応に大変ご苦労をかけたと思います。なかでも、国会議員(文部科学委員18名)並びに山口県会議員(厚生委員15名)の視察が実施されましたことは、会の活動が全国版となっていることと存じます。活動のなかで、特に、「グローバル500フォーラムうべ」(11月22日)の開催にあたり、西原会員の「里山ビオトープ二俣瀬」の講演は、特筆でありました。また、学習田の活用においては、学校完全週5日制の実施に伴う土曜日の休日活用の「田植、稲コギ(ハゼ掛)、さらに収穫祭(餅つき)」の一連活動は児童の体験学習となったと思われ、大変な好評でありました。さらに、「ソバの種まき、ソバの収穫、ソバ打ち試食会」並びに「レンコン掘り」等の活動は、他に見られないものでありました。本年は、さらなる、皆様方の創意工夫を頂き、「里山ビオトープ二俣瀬」を大きくアピールに努めるとともに、会員、ご家族の皆様のご健勝とご繁栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

2. 活動報告(事務局 記)

12月23日(月)今年最後の作業は、ビオトープ収穫祭第3弾、蓮根掘りです。ちょっと蓮根堀を甘く見ていました、大変です、ホント買ったほうが良いくらいです、しかし「ビオトープ蓮根掘り隊」は、がんばって掘るのであります、なぜかって、もうすぐお正月です、やっぱ、正月には、お餅、そば、蓮根は欠かせないものです。

1月18日(土)今日の作業は、駐車場の草刈りと椎茸原木切りでした。今年初めての行事でしたので、30名の参加がありました。

1月19日(日)朝9時、市民センター集合で宇部自然保護協会による、自然観察会がありました、少人数でしたが、水の中のヤゴ(コシボソヤンマ、シオカラトンボ、サナエ etc.)、マツモムシ、鳥では(アオゲラ、アオバト、アオサギ、etc.)等、色々観察できました。

1月19日(日)やまぐちの川の歴史・文化遺産を探访する会の厚東川流域(中流域)探访として、70名の方が里山ビオトープ二俣瀬を見学に来られました。田村・林弘之・藤村・西原会員の説明と案内で、遊ロード経由でビオトープを見て廻られました。

3. 今後の予定(事務局 記)

見学者

未定 未明 柳井川、田布施川協議会ご一行約20名御見学予定

未定 下松市 農業委員会

未定 防府中の関ご一行

未定 福岡市 農業委員会

行事

1月23日 北部シルバー会ご一行20名

2月 1日 作業(草刈り)

2月 2日 市民活動センターへビオトープ活動報告(パネル掲示のみ)2月1日夕方準備

2月15日 作業(植栽)

4. ビオトープ関連 (ビオトープで観察される動植物)(車地 藤村 武昭 記)

ビオトープに植栽されている蘭科植物〔2〕

トキ草

日当りにもよるが、サギ草より一足早く5月末頃より開花する。長楕円形の葉1枚をつけ、直立する茎の頂上に美しい淡紅紫色の花が1輪咲く。地下茎はハスの様に連なっている。自生地ではサギ草と同居している所もある。朱鷺という鳥の羽色を想像して、名付けたものであろうが、サギ草に対してうまく命名したものと思う。トキ草も朱鷺同様絶滅の危機にある。何とかこれも増殖したい。

5. ビオトープ関連 (連載ビオトープ近辺の案内)

“珍説フタマタセ その五、広報” (車地 吉富 壮介 記)

表紙を見て驚いた。アクトビレッジおの。グローバル500アジア。パシフィックフォーラム。省エネルギービジョン策定のワ

ークショップ。インフォメーション。ルーラルきららフェスタ…。カタカナ語の羅列、表紙だけでこれ。わが宇部市の広報No 1 220だった。スポーツ紙か週刊誌ならわかる。見たい者が買い、見たいとこだけ見りゃいい。でも、市の広報となれば、要る要らんじゃない。頭から配りつけ「読め！」と。ええ読みましょう、意味はどうでも…。まだカタカナは読めますから。しかし、なんといったって私は72才。ワープロもパソコンもやらない、ケータイもない。時代おくれは自覚しておるつもり。ただその前に、わが宇部市民の教養も、ここまで上がったかと感心したり、ついていけない者を馬鹿にするな！と憤ったり…。まさか「これが読めん者は市民じゃない」とは、いや、「これがわからん者は、ついて来んでもいい」とは思っていないでしょうねえ。「こんな広報(もの)が作りたい」と作っているのか、「これでないと給料もらえんから」なのか、ま、どっちでもいい、これじゃ読みたくない。ポイと投げたら裏返しになった。ルーラルきららフェスタとあった。ああ。ピオトープの会報もこうなるのかなあ。でも会報ならいい。好きが集まってピオトープをやっている。アチラ語が多いだの、専門語がわからんだのというなら、見んにゃええ。書きたい人が書きたいだけ書いておくれ。五年たったら終わる会。書くなら今の内…。ピオトープ、私は“微音ぶ”(小さな屁)と心得ている。二俣瀬には、こんなヤツもいるという話。

6. 会員の声

御無沙汰いたしています (中本亜矢子)

どのくらい振りでしょうか。ひさしぶりの好天+お休みが重なったのでピオトープに足を運んでみました。手づくりのピオトープの看板を横切り小川から水車のところまで来て、あれからずいぶんと月日が経ったんだなあと感心しました。誰もいない冬の間も、水車は山水?を受けてクルクル回っていました。でも木製の水車の表面には水苔が付き支柱は錆も出てきていてそれだけの月日を雨風にさらされながら春夏秋冬働いてきたんだなあ…。そしてそれだけの月日、会員でありながらほとんど顔を出さなかった自分をとても反省しました。皆様どうも申し訳ありませんでした。そんなことを思いながら、感想ノートの置いてある東屋に向かって歩いているとたくさんの蓮の花の枯れた蓮畑を通りました。そう言えば先日(昨年暮)蓮堀があったんですね。ウベニチの2面で石井会員の蓮堀の記事を読んでそのときの様子が良く分かったのですが！8月には見事な花を咲かせていたんだなあと思うと、また後悔の念でいっぱいです。毎回とはお約束できませんが、昨年よりは頑張っって作業や行事等参加したいと思いますので、同土よろしく御願い致します。

このときパンフレットが風で飛んで須賀河内川を汚していたそうで中本さんがきれいに取り上げてくださいました。

7. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

1月2日 里山が残されていることを嬉しく思いました。正月の2日運動不足を解消するためバードウォッチに歩きました。雨不足で池には水が少なく鳥の姿が無く残念です。今度は孫と一緒に来たいと思いました。 小野田市 川村

8. 会よりの連絡事項

- 1 - 皆様にお配りしましたアンケートを集めています。色々なアイデアや意見が盛り沢山で、平成15年度行事計画を立てるにたって大変参考になります。出来るだけ皆様のご希望に沿えるよう会長はじめ関係会員とまとめ行事計画を作り上げます。
- 2 - ピオトープに昨年沢山めだかや、田えび(沼えび) 藻エビ(筋えび)が増えました。先般会員の方から心無い人たちが魚釣の餌としてもえびや田えびまた不必要なまでの数のメダカを捕って(盗って)行く人を見かけたとお聞きしました。せっかく昨年は自然環境も良く会員皆様の努力もあってたくさんのそれらの生物が増えたのにそんな人に横取りされるのは非常に気分が悪くなります。

会員の皆様でそう云う人を見つけられましたらその場で注意するし、早く事務局なり連絡を下さるよう御願います。

サギ草やトキソウの自生地に付いても同じですが知っていることを自慢げに話すことを慎みたいと思います

- 3 - 脱会者、入会者のご案内

健康上のためや、仕事のことで参加が出来ない方の脱会したい旨連絡が入りましたのでお知らせします。

紙村慶太さん、久保田孝、久保田文子さん長い間会員としてご協力いただきました。有難う御座いました。

尚 郷中行夫さんが新入会員となられましたよろしく御願います。

9. 編集後記

皆様、今年もどうぞよろしく御願います。 昨年は、ソバの栽培、収穫、粉引き、ソバ打ち、又、レンコン掘りと初めての経験を楽しむ事が出来ました。ソバ打ちは、更なる経験を重ねる必要がありレンコン掘りは 大変な作業である事を実感し、来年はもう少し、要領良く掘れるかなと思いました。とても美味しいレンコンでした。これからピオトープとして 維持管理しながら、更に充実させていくためにも出来るだけ多くの人の参加が必要ではないかと思ひます。収穫祭の楽しいイベントで多くの人が集まる様に、その充実の為に意見を交わしながら 今年はこの様に このピオトープが 変わっていくか楽しみです。季節の移り変わりを二俣瀬で このピオトープで感じながら 元気に参加したいと思います。 (松本 フデ子 記)